

*11月、秋も深まり急に冷え込む日も増えてきました。長野県の野辺山では、紅葉の便りと並び10月25日に氷点下6度3分まで下がるなどとして、初霜の便りが届きました。初霜と聞くと気持ちも冷えそうですが、長期予報では11月の関東は平均気温は高い確立70%らしいです。寒くなるどうしても体が縮みがちになりますが、今スポーツ界からのニュースでは、体操、フィギュアスケート、卓球、柔道と、若者の素晴らしい大会結果の報道に興奮させられています。どの選手も、離れ業とは思われない動きを難なく披露しているのを見ると、若い人は違うな！と単純に考えますが、彼らの努力の大きさが紹介されると、文字通り血の滲むような稽古を重ねた結果であることが分かります。さりげない技の陰にある自分のイメージを形にするまでの努力。それはビジネスに関する研究開発でも同じことでしょう。今話題の廃プラスチックの処分方法も、試行錯誤の中からきっと新技術が探し出され、世界中に新しい処分方法が伝達されると思います。高知駅前にある坂本竜馬像は、銅像に見えますが発泡スチロールで出来ているようです。熱に強く(バーナーで炙っても熔けない)、強度が高い(厚さ3cmで2t位のトラックも通れる)材質を開発し、校舎の外壁にも使われるなど、発泡スチロールの可能性を広げています。開発者は岡山県のお小さな会社の方でした。志あれば道ありです。廃プラ処分方法を新開発技術・ニュースが岡山県です。



★羅針盤 No.104

東港金属株式会社
 東京都大田区京浜島2-20-4
 電話 03-3790-1751
 URL <https://www.tokometal.co.jp/>
 (見学受付)
 電話03-3790-1751 又は 各営業担当

*東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物処理を“いつでも”お受け致します。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。

営業部 Y の考察

★羅針盤

鉄・非鉄スクラップ・市況からの11月予測

鉄スクラップ → 考察) 10月に関しては、指標となる東京製鉄宇都宮工場の特級価格の変動は無く37,500円/トンのまま。11月に関しては、鋼材生産需要はあるものの西方面が下がっていることや、台湾等海外輸出の価格が多少下がっているため、横ばいもしくは下げが予想されます。

銅 → 考察) 10月はLME6,260ドル/トン台、国内銅建値750,000円/トンスタート 為替TTS 114円台。前半は円安・在庫減により価格は比較的安定しましたが、中盤に国内銅建値が2回にわたり10,000円/トン下げ、最終は740,000円/トン。11月に関しては、円高傾向・欧米の株価下落、米国と中国間の貿易摩擦による追加関税問題もあり、先が見えにくい状況。上げ下げを繰り返して最終的には下げが予想されます。

アルミ → 考察) LME2,050ドル/トンでスタート最終的には2,000ドル/トンを割り込みました。11月に関しては海外の新塊の価格が下がっていることや、合金メーカーの在庫が増えているため、集荷に積極的にはならず下がると考えられます。

プラスチック → 考察) 10月は、どこの処分場もサーマル向けの処分場や焼却場が更に処分費を上げ、品位が厳しくなり、集荷制限をかけるなど出荷先の確保に苦労しました。11月も同様に荷受け制限が続くでしょう。処分費は中間処理場から先の焼却場の価格に左右されるため、今後は金属スクラップと同じように相場スライドになる可能性が有るでしょう。

10月予測の自己評価

鉄スクラップ	○	アルミ	×
銅	×	プラスチック	-

★羅針盤

家電リサイクル法の現況

平成13年4月から施行され、広く定着している家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)の状況について、環境省のホームページ(一財)家電製品協会のデータを参考に、ご紹介いたします。

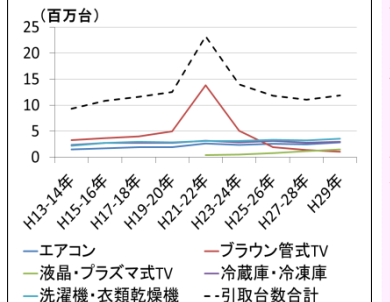
一般家庭から排出される使用済みの廃家電製品には有用な資源が多く含まれていますが、家電リサイクル法施行前には、その多くが破碎処理の後に鉄などの一部の金属のみ回収が行われている場合があるものの、約半分はそのまま埋め立てられていました。

また我が国の廃棄物最終処分場の残余容量がひっ迫していることもあり、廃棄物の減量とリサイクルが必要となっております。

このような状況を踏まえ、使用済み廃家電製品の製造業者等及び小売業者に新たに義務を課すことを基本とする新しい再商品化の仕組みを定めた家電リサイクル法が平成10年6月に制定され、平成13年4月から施行され約17年が経ちました。

この法律では、家庭用エアコン、テレビ(ブラウン管式・液晶・プラズマ式)、電気冷蔵庫・電気冷凍庫、電気洗濯機・衣類乾燥機の家電4品目について、小売業者による引取り及び製造業者等(製造業者、輸入業者)による再商品化等(リサイクル)が義務付けられ、消費者(排出者)には、家電4品目を廃棄する際、収集運搬料金とリサイクル料金を支払うことなどをそれぞれの役割分担として定めています。

平成13年度の立上時から平成28年度までは各2年度分の平均引取台数を、平成29年度は単年度の引取台数をグラフにしました。



合計台数では平成29年度の約1,190万台は、平成13年度の約840万台に比べて約1.4倍の台数が引き取られておりました。また、テレビが平成22年度に大きく増えたのは、アナログからデジタル放送への切替えとエコポイント制度によるものです。その後ブラウン管式TVは液晶・プラズマ式TVに置き換わっております。

では実際の回収率はどうでしょうか。短期間のデータですが平成25年度の回収率は、4品目合計で49%となっており、平成20年度以前は5割程度であったことから、今後も、社会経済上の大きな変動があり、出荷台数が大きく増大しない限りは、同程度の推移になると想定されるとしております。平成27年3月の家電リサイクル法の基本方針には回収率目標(現行49%の回収率を平成30年度までに56%とする。)が定められております。



「終わらぬ挑戦」

経理部 土居 三明

経理部の土居でございます。投稿4回目、今回で最終回となります。1回目の投稿は不安だらけでスタートしましたが、投稿を見て声を掛けて下さる社内の方や外部の方々(特に銀行関係の方々)のお陰で最終回まで続ける事が出来ました。本当にありがとうございました。今回もマラソンで締めくくりたいと思います。

10月28日(日)に横浜マラソンに参加してきました。この横浜マラソンは最初の投稿でお話した、私が約3年半前に初めてフルマラソンに挑戦した思い出深い大会です。ですから、私自身はこの3年半の成長を確認出来る大会であると楽しみにしていました。そう言いながらも、前回の投稿での富士登山競争で残念な結果で終わったショックと、夏場の暑さを言い訳に8月は全く走らずサボっていました。9月、ようやく気合を入れ直し練習再開。10月からは追い込みの為、2週連続で30kmの大会にエントリーし横浜マラソンの調整を行う予定にしました。

そして最初の30kmの大会では、やはり練習不足で20km辺りから足が止まり、25km付近で足の裏が痛い、と嫌な予感。そのまま我慢して何とかゴール。脳裏によぎったのは2年前の足底筋膜炎でした。

翌週は2回目の30km大会。スタートと同時に気になるのは足裏の痛みばかり。10kmまでは好調に走れ問題無いかと思った矢先に痛み再発。ここで無理をしても駄目だと思い15kmでリタイアしました。マラソンを始めて初めてのリタイア。横浜マラソンに向けて十分な練習が出来ないまま、治す為には足を休めるしかない2週間は完全休養に充てました。

そして横浜マラソン当日。痛み止め+気合でスタート！(内心はリタイア覚悟)沿道の方々の声援で気持ちを紛らわせながら20km。まだ痛みは無い。ペースも練習不足にはまあまあ。30km、ペースはガタ落ちながら不思議と痛みもまだ無い。ここまできたら何とか完走したい！！しかし35kmで下半身が限界となり、足裏も痛く、肝心の気持ちが切れ始め歩いていました。フルマラソン初挑戦の苦しい思いを振り返る余裕も無く、今の苦しさで耐えるのが精一杯。ゴール手前だけは力を振り絞って何とか走りゴールしたタイムは4時間19分。本当であれば悪くても4時間を切って納得する形で終えたかったのですが、初挑戦時のタイムの4時間35分は切りながらも、またまた残念な結果で終わることとなりました。

今年は横浜、湘南国際、京都、東京と申し込んだ大会すべてに当選し、最高のマラソンシーズンになると楽しみにしていましたが、足裏の痛みで、憂鬱なマラソンシーズンになってしまいました。しかし、私の挑戦はまだ続きます。最終目標は二つ。
 ①富士登山競争にて山頂まで完走 ②フルマラソンにて3時間半を切る
 かなり厳しい目標ですが、「為せば成る為さねば成らぬ何事も」これは仕事も同様ですね.....
 (目標を達成し)皆様にお会いできる機会を楽しみにしております。
 ありがとうございました。